



## はじめに

千歳市の農業は、北海道内最大の消費地である札幌圏との優れた近接性、市内に新千歳空港やJR、道央・道東自動車道を配し、苫小牧港も30分圏内という交通条件の優位性からの都市型農業の側面とともに、石狩管内第1位の生産額を誇る純農業地域の特性を併せ持ち、近年では、グリーン・ツーリズムの進展が見られるなど、特色ある展開が行なわれてきました。

一方、我が国の農業・農村をめぐる情勢は、WTO・FTA交渉の進展と環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の動向が懸念される中、農業者の減少や高齢化は歯止めがかからず、生産コストの増大と農産物価格の低迷がさらにそれに追い打ちをかけるという、極めて厳しい局面にあります。

国は、昨年3月に新たな食料・農業・農村基本計画を策定し、国民が豊かな食と環境の恩恵を受け、農業者が誇りと希望を持って生産活動にいそむことができる「国民全体で農業・農村を支える社会」の創造を目指すこととしました。

また、北海道の新たな農業・農村振興推進計画では、「食」のブランドづくり、「環境」と調和した農業・農村の持続的発展、多様な「担い手」の育成・確保と経営の体質強化、豊かな資源と創意工夫を活かした「地域」づくりを目指すこととしております。

このような中、千歳市では、新たな時代の動きに対応できるよう、「千歳市農業振興計画(第3次)」を策定し、「地域資源を活かし次世代につなぐ農林業をめざして」の基本目標を掲げ、今後10年間の千歳市の農業・農村の振興に向けての指針とすることといたしました。

今後はこの計画の下、農業者の皆様をはじめ、関係機関・団体との連携を図りながら、また市民の皆様のご協力をいただきながら、目標の達成に取り組んでまいります。

終わりに、この計画の策定にあたり、熱心にご審議をいただきました千歳市農業振興計画策定懇話会の委員の皆様をはじめ、アンケート調査、担い手意見交換会、関係機関ヒアリング調査にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成23年3月

千歳市長